


# JCI JAPAN TOYP 2020 エントリーシート

氏名*	飯田 耕平
フリガナ*	イイダ コウヘイ
所属団体*	一般社団法人境青年会議所
活動内容* (200文字以内)	<p>茨城県の特産の銘茶「さしま茶」を生産し、伝統的なお茶の製法である「手揉み製茶」の技術を競う「全国手揉み製茶技術競技大会」において優秀な成績</p> <p>(2011年第15回優勝・2015年第19回優勝・2016年第20回準優勝)</p> <p>を残している。県さしま茶手揉み保存会のメンバーで、伝統技術の保存に努めるとともに、県内の様々なイベントで「手揉み茶」の実演を行い、2015年5月につくば市で開催されたG7科学技術大臣会合でも実演を行っています。「日本だけでなく世界にも茶の魅力を発信したい」との思いから、活動の幅を広げ活躍しています。</p>
活動カテゴリー*	<input type="checkbox"/> ビジネス・経済・起業 <input type="checkbox"/> 学術 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 倫理・環境 <input type="checkbox"/> 青少年育成・世界平和・人権 <input type="checkbox"/> 人道支援・ボランティア <input type="checkbox"/> 科学技術 <input type="checkbox"/> 自己啓発 <input type="checkbox"/> 政治・法律 <input type="checkbox"/> 医療革新 <input type="checkbox"/> その他( )
紹介者氏名 紹介者がいる方は記入	石川大輔 君
紹介者所属団体	一般社団法人境青年会議所
JCI JAPAN TOYP を どこで知りましたか？*	青年会議所会員からの推薦( 境 青年会議所)・ホームページ・フェイスブック・チラシ・メディア( )・その他( )

## ■PR活動(全200文字以内厳守)

顔写真*	
------	---

経歴  
(200 文字以内)

2003 年 独立行政法人 野菜茶業研究所 入所  
2005 年 日本茶インストラクター協会認定 日本茶インストラクター6期生  
2008 年～現在 飯田園 就農  
2008 年～現在 茨城県さしま茶手揉保存会 副会長  
2011 年 第15回全国手揉製茶技術競技大会 最優秀賞 受賞  
2013～14 年 日本茶インストラクター協会 茨城県支部 支部長  
2013～14 年・17 年 茨城県茶生産者組合連合会 青年部 副部長  
2015 年 第19回全国手揉製茶技術競技大会 最優秀賞 受賞  
日本茶インストラクター・リーダー 取得  
2016 年 G7伊勢志摩サミット つくば科学技術大臣会合にて手揉み茶を呈茶  
2016 年 第20回全国手揉製茶技術競技大会 優秀賞 受賞  
2019 年 全国茶審査技術競技会 5段位 取得



小学生から大人まで幅広い年代・海外の方を対象に茶園見学、茶工場見学、お茶摘み体験、お茶作り体験、手揉み茶実演、お茶の美味しい淹れ方教室を実施しています。

活動PR1\*  
(200 文字以内)



全国手揉み製茶競技会へ出場、全国茶品評会への出品、茶審査技術競技会へ出場。  
各大会に出場することでさしま茶の産地としての PR と個人の技術の向上を目指しています。

活動PR2\*  
(200 文字以内)



G7つくば科学技術大臣会合やミシュラン星付きのレストランでの手揉み茶の呈茶はマスコミでも取り上げられ、今後も茨城県の魅力を全国・世界に発信していきます。

活動PR3  
(200 文字以内)

SDGsのゴールと  
ターゲット番号及び  
結びつきの説明  
※SDGsの取り組みをし  
ている方は記載をお願い  
致します。

番号の記入( 4)  
(4. 7 2030 年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。 )

説明( お茶を通してお茶作る技術と文化を伝承するため活動しております。)

■質問事項(全200文字以内厳守)

質問1\*  
(200文字以内)

活動を始めたきっかけを教えてください

高校を卒業後、静岡県にある野菜茶業研究所に入所し、そこで初めて「手揉み茶」というものを知りました。授業の一環で手揉み茶作りを体験する中で、自分の手だけでお茶を細く長く揉み込むことで針のような芸術的な形にしていけることが快感でした。そして、手揉み茶を飲んだ方がその美味しさに感動してくれたことが活動を始めたきっかけです。

質問2\*  
(200文字以内)

この活動を通してどのような未来を実現したいと思っていますか(ビジョン)

継続的に手揉み茶の実演会や体験会を開催し、さし茶の魅力だけでなく、日本茶の魅力・伝統文化を全国・世界に発信していきます。また、手揉み茶の技術を後世に伝承することで、後継者の育成をし日本茶業界の発展の一助になりたいと考えています。

質問3\*  
(200文字以内)

未来を実現するために今行っている具体的な活動をお答えください(アクション)

- ・茶園見学・工場見学・茶摘み体験・茶作り体験の実施(小学生から大人まで)
- ・お茶の美味しい淹れ方教室の開催
- ・全国手揉み製茶競技大会への出場、全国茶品評会への出品、茶審査技術競技会への出場
- ・ミシュラン星付きのレストランやイベント等での手揉み茶の実演や呈茶・さし茶の説明

質問4\*  
(200文字以内)

あなたの行っている活動は社会にどのような影響を与えていますか(インパクト)

お茶の美味しい淹れ方や楽しみ方を学ぶことは、日本茶文化の理解の助けとなり、また、将来的に社会全体がお茶文化を継承していくことにも繋がると考えます。また、一杯のお茶で会話がうまれ、一家団欒の大切さを育むことができます。茶産地の農村地域においては茶園見学や茶摘み体験、お茶作り体験を通して後継者の育成、都市部からの就農者の増加が見込め農業の発展に寄与しています。

質問5  
(200文字以内)

あなたの考えるリーダーシップをお答えください

先輩、後輩、役職などにとらわれず、誠実で、コミュニケーションを大事にし、信頼を得ることだと思います。